

## インターンシップ実践報告&セミナー 実施報告書

日時：2025 年 12 月 17 日 17:00～19:00

会場：燕市役所 1 階 つばめホール

参加者：24 名(企業経営者・人事担当者・大学教員・市役所職員・学生)

方法：対面及びオンライン

内容：

### ① 新潟大学工学部協創経営プログラムの学生による燕市内でのインターンシップの実践報告

【発表者】

- |      |                             |
|------|-----------------------------|
| 2 年生 | 平野 綾音：企業の展示会活動についての調査報告     |
|      | 坂口 悠斗：企業の発信方法についての調査と今後の計画  |
| 3 年生 | 渡邊 脩太：社会人基礎力向上を目的とした活動とその効果 |
|      | 小野 太一：課題発見と解決に資する視野の段階的な拡大  |
| 4 年生 | 相内 一輝：企業内の課題の在処に対する視点と解決の実践 |
|      | 渡邊 仁志：課題解決の実践によって得た学術的思考の価値 |

各自現在行っているインターンシップの内容を報告した。また、インターンシップを通じての自身の成長とその理由についても発表した。2 年生から 4 年生で段階的に成長していくプロセスを報告した。

### ② 新潟大学工学部協創経営プログラム卒業生によるインターンシップの効果

【発表者】

東京エレクトロン宮城株式会社 佐藤 大和

企業紹介と現在の業務内容について紹介。インターンシップの経験が現在のキャリアに与えた影響について発表した。

### ③ インターンシップ受け入れ企業による効果の報告

【発表者】

株式会社 阿部工業 第 1 製造 G GM 破入 友太  
有限会社 栄工業 代表取締役社長 山村 則子

各企業での学生の活動の報告とインターンシップが企業に与える影響・効果について発表した。インターンシップの社内課題に与える効果と、組織への影響についての考察についても発表した。

参加者の声（抜粋）：

- ・どちらも単に作業する駒ではなく、パートナーとして一緒になって取り組んでいくことの大事さを知った。

- ・インターンシップ受け入れハードルのリアルとその乗り越え方がわかった気がしました。
- ・学年による目的の違いと毎年継続する意図について理解した。
- ・課題解決の方法はDX だけではないという気づきを得た。
- ・より多くの企業へつばめいとさんのインターンシップ受け入れ取組内容を認知させてほしい。
- ・現場作業が主体の弊社にとって、今回の報告した学生たちが入社してくると思うと、経験の違い・基礎力の違いや差に脅威？を感じています。
- ・(インターンシップ生を) 今自社が欲しいのに入れられない人財の補充、にならないかなあと思ったりしました。

会場の様子：

